

例会プログラム

外部卓話 「あした彩の活動報告と人形劇について」

○あした彩の活動報告 「あした彩」代表 米本 有紗 様(岡山商科大学法学部4年)

今日は貴重なお時間をいただき、現在のあした彩の活動状況と来年2月20日に予定をしております創立30周年記念事業として賛同いただきましたオンラインイベントの開催に対し、直接感謝の気持ちをお伝えさせていただきたいと思います。

最初に一昨年の大阪WILL、京都産業大学での研修会へのバス代の支援から始まり、昨年は、新型コロナウイルスの影響で、あした彩としての活動ができない中、勉強会や研修会場の手配、被害者支援を考える教材となる映画のチケットやDVDの寄贈、今年2月には卒業イベントを兼ねた合同勉強会を開催していただくなど、それまで経済的な理由から限られた活動を強いられていた先輩たちが羨むようなご支援をいただいていることに心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

現在の活動状況ですが、今年も春からコロナの影響で、学校間の連携活動がまったく計画できない状況のまま半年が過ぎてしまいました。それでも去年と大きく違うのはコロナの終息が見えない中、5月にはこの秋に予定していたオンラインイベントの開催も危ういのではと計画を見直し「コロナ禍でもできる活動を」と、「オンラインによる他県の学生団体との交流会」に変更することにご理解をいただいたことです。

7月には岡本会長にも出席をいただいた、あした彩リーダー会議で、去年はできなかったあした彩の活動と、今年の集大成を兼ね、オンラインイベントの開催を周知し、全員で情報を共有しました。その後、実行委員会を立ち上げ、オンラインで何度も打ち合わせを重ね、企画書を完成させました。また10月1日には、まん延防止等重点措置も解除され、行動制限も緩和したので、これから創立30周年記念事業の名に相応しいイベントになるよう取り組んでいきます。

私たちの大きな悩みの1つに「犯罪被害者支援」「遺族講演」といった言葉の響きからか、お声がけしても「なんか暗い話だろう」とか「私には関係ない」と言って敬遠されてしまいます。『そんなことはないのに…』とすぐ歯がゆい思いをすることがあります。どうか2022年2月20日、岡山北西ロータリークラブ創立30周年記念事業「犯罪被害者支援オンライン交流会」の会場に足を運んでいただき、私たちの被害者支援に真摯に取り組む姿を見ていただきたいです。

そして「被害者にも加害者にもならない、安心安全な社会の実現」に力をお貸しください。よろしくお願ひ致します。

○オンライン交流会について 「あした彩」商大サークル 横山 英寿 様(岡山商科大学法学部2年)

これから2月20日に無事開催できるよう、具体的に準備を行っていく予定です。そして、本格的に準備を進めていく過程で、イベントがより良い形になるよう企画案を変更する場合もあるかと思ひます。どうぞご理解のほど、よろしくお願ひいたします。

また、11月14日にはリハーサルを兼ねて「勉強会」を開催いたします。ご都合があれば、ぜひ、ご参加いただきますよう重ねてお願ひ申し上げます。

このイベントを、コロナで思うように動けなかった去年、今年の集大成とし、何としてでも良いものにし、次の世代につなげていきたいと思ひます。また、あした彩の活動も全国に伝え、少しでもどなたかの心を動かすことができれば幸いです。よろしくお願ひいたします。

○人形劇について 「あした彩」人形劇リーダー 山本 美有 様(ノートルダム清心女子大学文学部4年)

現在、ノートルダム清心女子大学の学生を中心に、「あした彩」に所属している様々な大学の学生が月1～2回のペースで集まり、人形劇の作成に取り組んでいます。人形劇作成のきっかけは、昨年の8月に西大寺公民館で秋田さんをお招きして、講演会を行ったことです。この講演会を通して、「命の大切さ」「加害者にも被害者にもならないこと」そして「運転に不安を覚えたら思い切って免許返納をする重要性」を伝えました。

その結果、聴講者の方から「講演会の内容が心に響きました。若い人たちが活動に取り組む姿を見て元気ができました」「とても勉強になりました」とお言葉を頂くことができました。そして、講演をされた秋田さんのご経験を形



として残したいという思いから、人形劇の作成が始まりました。

始めに、ノートルダム清心女子大学の学生を中心にシナリオ作成をしました。完成したシナリオの内容を秋田さんに確認を取り、いよいよ人形劇を形にしていきます。集まったその時々で人形劇の下描き、色塗り、劇中のBGMや効果音探しなど担当を決め、取り組んでいます。秋田さんに娘さんの制服の写真を提供していただきその通りに再現したり、秋田さんに当時の服装や娘さんの表情などを伺って、イメージと違ったらその度に修正を行うなど、なるべく秋田さんのご要望を汲み取るよう心掛けて作成しています。また、人形は一人がすべて描くのではなく、何人かで手分けをして描いているので、人形の絵柄はそれぞれ個性があります。色々な絵柄があることによって、多くの人の手によって作られた人形劇であることが伝わると考えています。そして、人形劇を通して、「命の大切さ・家族や友人、仲間の大切さ」に気付いていただきたいという思いを込めて作っています。

緊急事態宣言など集まるのが難しい時期が重なり、当初の完成予定より遅れている状況ですが、現在は来年2月のオンラインイベントで人形劇を披露することを目指して、あした彩で一丸となって完成に向けて取り組んでいます。まだ劇の練習を行う必要があり、細かい部分で話し合いを進めていかなければならないなど課題はありますが、あした彩のみんなで協力して乗り越えていきたいと考えています。ロータリークラブの皆様には、これからも活動を温かく見守っていただければ幸いです。

